



平成26年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月7日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4361 URL <http://www.kawachem.co.jp>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 吉隆
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 荻野 幹雄 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第3四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第3四半期	4,906	8.5	26	—	24	—	12	—
25年11月期第3四半期	4,521	△9.9	△16	—	△21	—	△9	—

(注) 包括利益 26年11月期第3四半期 13百万円(214.9%) 25年11月期第3四半期 4百万円(△88.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第3四半期	0.99	—
25年11月期第3四半期	△0.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年11月期第3四半期	6,151	—	1,539	—	25.0
25年11月期	5,876	—	1,525	—	26.0

(参考) 自己資本 26年11月期第3四半期 1,539百万円 25年11月期 1,525百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年11月期	—	0.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	12.7	80	846.5	70	—	40	750.9	3.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 、 除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年11月期3Q	12,200,000株	25年11月期	12,200,000株
② 期末自己株式数	26年11月期3Q	17,915株	25年11月期	17,915株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年11月期3Q	12,182,085株	25年11月期3Q	12,182,914株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米国経済において今後の金融緩和縮小による影響が懸念されるものの、景気は緩やかな回復が継続しました。中国においても成長は鈍化したものの、引き続き緩やかな拡大が期待されます。東南アジア経済は全体として持ち直しの傾向となりましたが、先行きについては依然として不透明な状況が継続しています。

日本国内においては、本年4月以降の消費税増税の反動により、国内自動車販売台数が本年4月以降前年割れになるとともに、昨年9月来前年同月を上回っていた国内自動車生産台数も本年7月に前年割れとなりました。当第3四半期からは駆け込み需要の反動からの持ち直しの動きが見られるものの、当社を取り巻く環境は厳しい状況が継続しています。ナフサを中心とする石油関連製品価格は高止まりを続けており、円安の進行による原材料価格が高騰するとともに、国内外の販売においては他国企業との競争は厳しさを増しており、企業収益の圧迫要因となっています。

このような状況の下、当社グループにおきましては、主力のゴム薬品・樹脂薬品・機能性化学品について市場の回復に対応した販売や新規販売に注力するとともに、原材料価格の高騰に対応して製品価格改定を進めました。海外においては、主力のゴム薬品ならびに樹脂薬品において積極的な受注拡大に努めました。また、原材料購入・製品在庫の適正化ならびに合理化をはじめとするコスト削減を実施しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は49億06百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は26百万円（前年同期は16百万円の損失）、経常利益は24百万円（前年同期は21百万円の損失）、四半期純利益は12百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。

(部門別の概況)

<ゴム薬品>

ゴム薬品の分野は、主要顧客であるタイヤ・自動車用ゴム部品・合成ゴムユーザーにおいて本年4月以降の消費税増税による駆け込み需要と反動減の影響が見られました。当第3四半期においてもその反動減の影響が残りましたが、特殊ゴム薬品について販売が伸びたことから、国内販売は昨年並みの売上となりました。

輸出につきましては、為替がやや円安に推移したことや、中国をはじめとする東南アジアの経済活動において緩やかな拡大傾向が継続したことから、主力品を中心に受注拡大に努め、売上を伸ばしました。

この結果、この部門合計の売上高は31億15百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、主要需要先の国内外のアクリル酸・アクリル酸エステルの生産需要が引き続き拡大したことや、国内アクリル酸生産の復調により、売上を伸ばしました。また、海外市場への販売を強化し既存の顧客への販売を維持拡大するとともに、新規顧客の開拓をおこない売上を伸ばしました。

この結果、この部門合計の売上高は6億91百万円（前年同期比34.6%増）となりました。

<中間体>

界面活性剤中間体は顧客の生産がやや低調となったことから前年同期並みの売上となりました。染料中間体は顧客の需要状況に対応した生産販売を行い、売上を伸ばしました。農薬中間体は品目により受注増減がありましたが、主要品目で競争が激化したことから、全体として売上が減少しました。医薬中間体機能性化学品は一部品目の受注減少があったものの、主要品目で顧客の需要を捉えた受注に注力し売上を伸ばしました。

この結果、この部門合計の売上高は4億70百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

<その他>

環境用薬剤は製品統合があったものの、受注の確保に注力し、売上を伸ばしました。潤滑油向け薬品は競争の激化により一部品目で売上が減少しましたが、自動車関連産業の回復により販売が全体としては増加し売上は前年同期を上回りました。新規用途向け薬品は、新規受注の獲得に注力しましたが、品目により売上に増減があり、全体では売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は6億28百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては61億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億74百万円増加いたしました。これは主に、たな卸資産が3億19百万円増加したことによります。

負債につきましては46億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億60百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億31百万円増加したことによります。

純資産につきましては15億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が12百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月期の連結業績予想につきましては、平成26年1月16日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

平成26年3月31日に、「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)、「地方税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第4号)及び「地方法人税法」(平成26年法律第11号)が公布され、平成26年4月1日以降開始する連結会計年度より法人税率等が変更されることとなりました。これに伴い、平成26年12月1日から開始する連結会計年度において解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率を38.01%から35.64%に変更しております。

この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は、2,687千円減少し、法人税等調整額は同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	500,062	477,825
受取手形及び売掛金	2,147,450	2,264,684
商品及び製品	693,901	798,641
仕掛品	175,224	314,109
原材料及び貯蔵品	236,340	312,204
その他	18,352	19,940
貸倒引当金	△2,149	△2,778
流動資産合計	3,769,182	4,184,628
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	967,373	858,671
その他(純額)	838,367	827,214
有形固定資産合計	1,805,740	1,685,886
無形固定資産		
その他	8,070	8,040
無形固定資産合計	8,070	8,040
投資その他の資産		
その他	295,042	273,677
貸倒引当金	△1,213	△1,213
投資その他の資産合計	293,829	272,464
固定資産合計	2,107,640	1,966,390
資産合計	5,876,823	6,151,019
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,082,192	1,313,925
短期借入金	1,070,000	1,170,000
1年内返済予定の長期借入金	119,572	119,572
未払金	206,437	220,754
未払法人税等	3,208	6,741
未払消費税等	29,849	10,847
賞与引当金	—	48,705
その他	158,006	86,080
流動負債合計	2,669,267	2,976,626
固定負債		
長期借入金	1,089,124	1,029,445
退職給付引当金	369,144	387,930
役員退職慰労引当金	66,628	68,513
その他	156,778	148,807
固定負債合計	1,681,674	1,634,696
負債合計	4,350,942	4,611,322

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	845,844	857,956
自己株式	△7,087	△7,087
株主資本合計	1,507,194	1,519,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,672	10,236
為替換算調整勘定	10,014	10,153
その他の包括利益累計額合計	18,686	20,390
純資産合計	1,525,881	1,539,696
負債純資産合計	5,876,823	6,151,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
売上高	4,521,650	4,906,959
売上原価	3,904,894	4,212,354
売上総利益	616,755	694,604
販売費及び一般管理費	633,521	667,615
営業利益又は営業損失(△)	△16,765	26,989
営業外収益		
受取利息	595	237
受取配当金	1,645	1,476
不動産賃貸料	6,223	6,376
受取保険金	5,305	627
貸倒引当金戻入額	58	—
その他	3,733	3,777
営業外収益合計	17,562	12,496
営業外費用		
支払利息	15,061	14,763
社債利息	3,090	—
その他	3,851	720
営業外費用合計	22,003	15,484
経常利益又は経常損失(△)	△21,207	24,001
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19,800
特別利益合計	—	19,800
特別損失		
固定資産除却損	1,004	5,253
減損損失	—	7,390
特別損失合計	1,004	12,644
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22,211	31,156
法人税、住民税及び事業税	930	4,670
法人税等調整額	△13,935	14,374
法人税等合計	△13,005	19,044
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△9,206	12,111
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,206	12,111

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△9,206	12,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,312	1,564
為替換算調整勘定	7,281	139
その他の包括利益合計	13,593	1,703
四半期包括利益	4,387	13,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,387	13,815
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。